

第4回 産業サイバーセキュリティ研究会 議事要旨

1. 日時・場所

日時:令和2年4月17日(金) 17時47分～18時18分

場所:電話会議

2. 出席者

委員 :村井委員(座長)、阿部様(泉澤委員代理)、遠藤委員、大林委員、篠原委員、中西委員、船橋委員、渡辺委員

※オブザーバは今回不参加

経済産業省:梶山経済産業大臣、商務情報政策局 西山局長、奥家サイバーセキュリティ課長

3. 配付資料

資料1 議事次第・配付資料一覧

資料2 委員等名簿

資料3 第4回 産業サイバーセキュリティ研究会 事務局説明資料

4. 議事内容

冒頭、梶山経済産業大臣から以下のとおり挨拶。

- ・ 今年に入ってから複数の大企業がサイバー攻撃を受けていたことが明らかになったが、これらの事案からは攻撃手法の高度化・多様化が進んでいることが伺われる。また、最近では、海外の医療機関などに対するサイバー攻撃や、新型コロナウイルス感染症に乗じた新たな攻撃も報告されている。
- ・ 経済産業省は、日々高度化し、深刻度を増しているサイバー攻撃のこうした状況を重く受け止めている。
- ・ まずは、在宅勤務の環境でも実施できるセキュリティ対策を着実に進めることが重要。また、今後急速に進んでいく産業のデジタル化に際して、サイバーセキュリティ対策が今まで以上に重要になる。
- ・ このような問題意識に基づき、企業が直ちに取り組むべき課題に論点を絞ってご議論いただきたい。そして、議論いただいた内容は、本研究会から産業界へのメッセージとして広く周知したい。この世界的危機を一致団結して乗り越え、より安全安心なデジタル社会を実現するために率直かつ踏み込んだご意見を頂ければ幸い。

事務局から、資料3についての説明に続き、以下のとおり自由討議を行った。

各委員からの意見は以下のとおり。

産業界へのメッセージ発信について

- ・ 感染症対策というフィジカルな事象に意識が集中している状況下に、産業界に広くサイバーセキュリティ対策の緊急メッセージを発出することは重要。時宜を得たメッセージである。
- ・ 日本の場合は、大中小の各企業がサプライチェーンを組んで価値創造をしているので、各々が意識高く、かつ協力してサイバーセキュリティ対策を練る必要がある。中小企業も含めたサプライチェーン全体へのメッセージが重要。
- ・ 社会経済のデジタル化が一層進む。セキュリティ上の懸念がオンライン化のブレーキにならぬよう、セキュリティ対策をしっかりとった上で社会経済のデジタル化を加速させるというメッセージを打ち出していくべき。

中小企業におけるサイバーセキュリティ対策・情報共有の重要性について

- ・ 攻撃の高度化で、実際に攻撃を受けているのに、それを認識できずに対策の必要性が認識されないという悪循環に陥っているようにも考えられる。実情を広く認知してもらうことが極めて重要。
- ・ 自分事として身近に感じてもらうことが第一。
- ・ セキュリティ対応の体制が十分にとれないような中小企業向けに、より具体的に、例えば「在宅勤務や自宅待機から初出勤した際には、必ずウイルスチェックやアップデートを実施すること」等分かりやすく示すことが重要。

経営層からのトップダウンでの取組の重要性について

- ・ 経営トップ自らがサイバーセキュリティの危機下にあることを認識し、トップダウンで取組を進める必要がある。CISO以外の経営層もセキュリティを自分事として捉えるようになる意識改革が重要。
- ・ Patching Cadence、Network Security、DNS Health、Application Securityの4項目はすぐにでも手を付けるべき内容。トップダウンで進めるべきだが、必須項目を設ける等、よりシンプルなメッセージとする工夫があるといい。

村井座長から、自由討議のまとめとして以下のとおりご発言。

- ・ 本日話があったように、サプライチェーン、ワークモデル、教育、医療の在り方が変わっていく。その中で、このメッセージが広く伝わることは大変重要。
- ・ このメッセージで触れられているものを含め、直ぐにやらなければならないことが多くある中、慣れない人に対して何を伝えるのか、こういったことは皆の力でやらなければいけないことだと思う。私からも皆様をお願いしたい。
- ・ 「久しぶりに使うPCは、アップデートをちゃんとするように」というのは非常にシンプルだが、数週間後に職場に復帰したときに確かに起こる。こういうことも本当にフェイタルな結果に繋がりがねない。重要なメッセージである。
- ・ 各分野のトップの方に集まっていたので、是非、ここで議論されたメッセージがより広く伝わるように委員の皆様のご協力をお願いしたい。

最後に梶山経済産業大臣から以下のとおり挨拶。

- ・ この困難な状況下、皆さまそれぞれの立場で社会に貢献されていることに、あらためて敬意を表したい。
- ・ 国民全体でこの事態を乗り切っていかなければならない。そして、今般の教訓から、企業規模を問わずにデジタルトランスフォーメーションを一層加速していく必要があると考えている。サプライチェーンの再配置、再編も起こる。皆さんで意識を共有してサイバーセキュリティ対策を行っていかなければならない。
- ・ 本日も議論いただいた内容に関しては、産業界へのメッセージとして公表する。皆様には、幅広い事業者へメッセージが届くように、周知にご協力いただければ幸いに思う。

以上

お問合せ先

商務情報政策局 サイバーセキュリティ課

電話:03-3501-1253